

### 3. 用語集

#### (1) 全般

|        | 用 語         | 説 明                                                                                                                                    |
|--------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| あ<br>行 | アドボケイト      | こどもの立場に立って、こどもが自らの考えを整理することを支援し、聴き取り等によってこどもの意見又は意向を把握して、関係機関等に対するこどもの意見表明を支援したり、こどもの意見を代弁する支援者（意見表明等支援員）。                             |
|        | 意見表明等支援事業   | こどもの福祉に関する知識又は経験を有する者（意見表明等支援員、アドボケイト）が一時保護所や児童養護施設、里親宅等、社会的養護下で生活するこどもの意見を聴き取り、希望に応じてこどもの意見を関係機関等に表明する支援を行う。こどもの意見表明権を保障することを目的とする事業。 |
|        | 親子関係再構築支援事業 | こどもと親がその相互の肯定的つながりを主体的に築いていけるよう、虐待をはじめとする養育上の問題や課題に直面している家庭の親子関係の修復や再構築に取り組むこと。<br>令和4年の児童福祉法等の一部を改正する法律において、親子再統合支援事業が創設された。          |
| か<br>行 | 家族療法事業      | 乳児院、児童養護施設、児童心理治療施設及び児童自立支援施設において、対象のこども等に対し、3か月から6か月を単位とした治療計画をたて、面接治療、宿泊治療、親子レクリエーション、家庭訪問治療等を行う事業。                                  |
|        | 家庭支援専門相談員   | ファミリーソーシャルワーカー。<br>虐待等の家庭環境上の理由により入所しているこどもの保護者等に対し、児童相談所との密接な連携のもとに電話、面接等によりこどもの早期家庭復帰、里親委託等を可能とするための相談援助等の支援を行う。                     |
|        | 家庭的養育       | 小規模な生活単位での養育により家庭的な環境で養育すること。具体的には地域小規模児童養護施設や分園型グループケアで行う養育を指す。なお、小規模な生活単位は4名以下が望ましく、最大6名までである。                                       |

|  |                    |                                                                                                                                                                                   |
|--|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  |                    | ※施設内でのユニットケアは家庭的環境とみなさない。                                                                                                                                                         |
|  | 家庭養育               | 家庭での養育。また、家庭における養育が困難の場合、養子縁組や家庭と同様の環境で養育する里親・ファミリーホームでの生活のこと。                                                                                                                    |
|  | グループホーム            | 上記家庭的養育を行う施設形態。<br>具体的には地域小規模児童養護施設や分園型グループケアを指す。                                                                                                                                 |
|  | 子育て支援ヘルパー派遣事業      | 妊婦や産婦、出生した乳児のいる、家事の支援等を必要とする家庭に、家事や保育経験のある子育て支援ヘルパーを派遣し、安心して日常生活を営むことができるよう援助する。また、家事・育児等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭にヘルパーを派遣することで、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐことを目的とする事業。 |
|  | 子育てホットライン          | 子育てに関する悩みの相談について、休日夜間を問わず（24 時間・365 日）、いつでも相談できる電話。夜間、休日等の電話相談員（会計年度職員）は保健師、看護師、保育士、幼稚園教諭のいずれかの資格を持つ、または、行政機関における 18 歳までのこどもに関する子育て相談の経験がある者。平日の開庁時間帯は、こども家庭支援課の職員が対応している。        |
|  | こども家庭センター          | 令和 4 年の「児童福祉法等の一部を改正する法律」において、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもに対し、母子保健・児童福祉の両機能が一体的に相談支援を行う機関として、「こども家庭センター」の設置に努めることとされ、横須賀市においても令和 6 年度から設置された。                                                 |
|  | こども家庭ソーシャルワーカー     | こども家庭福祉実務者の専門性向上を目的に設立された認定資格。こども家庭福祉のさまざまな場所・立ち位置で活用・実践できるためのソーシャルワークを専門的に学ぶことで、こども家庭福祉に係る支援の専門性の担保を目指す。児童相談所の児童福祉司や、市区町村こども家庭センターの統括支援員などの任用要件の 1 つとしても位置付けられた。                 |
|  | 子ども家庭 110 番相談 LINE | 神奈川県、横浜市、川崎市、および相模原市との合同で実施している、コミュニケーションアプリ                                                                                                                                      |

|        |                       |                                                                                                                                                                                                                        |
|--------|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        |                       | <p>「LINE（ライン）」を活用した児童虐待防止のための相談窓口。</p> <p>児童虐待、子育ての不安、しつけ、家庭や家族の悩みなど、こどもの養育に関する様々な悩みや問題について、社会福祉士や臨床心理士などの有資格者、または児童福祉司や児童心理司など実務経験のある専門相談員と一緒に考え、答えている。</p>                                                           |
|        | 子どもの権利ノート             | <p>こどもの権利について、こどもが理解できるよう平易な文章で説明した冊子。一時保護施設に入所、または里親に委託となった際にこどもに対して配付、説明する。</p>                                                                                                                                      |
| さ<br>行 | 里親支援センター              | <p>里親支援事業を行うほか、里親及びファミリーホームに従事する者、その養育されるこども並びに里親になろうとする者について、相談その他の援助を行い、家庭養育を推進するとともに、里子等が心身ともに健やかに育成されるよう、その最善の利益を実現することを目的とする施設。業務内容として、里親制度等普及促進・リクルート業務、里親等研修・トレーニング業務、里親等委託推進業務、里親等養育支援業務、里親等委託児童自立支援業務がある。</p> |
|        | 里親支援専門相談員             | <p>児童養護施設及び乳児院において、児童相談所の里親担当職員、里親委託等推進員、里親会等と連携して、(1)所属施設に入所しているこどもの里親委託の推進、(2)退所したこども等のアフターケアとしての里親支援、(3)所属施設から退所したこども以外を含めた地域支援としての里親支援を行い、里親委託の推進及び里親支援の充実を図る職員。里親支援ソーシャルワーカー。</p>                                 |
|        | 里親相談員                 | <p>里親制度の活用及び普及啓発を図るため、(1)里親からの各種相談に応じること (2)こどもを養育している里親を随時訪問し、養育の指導、助言等を行うこと (3)こどもの養育を委託していない里親を随時訪問し、こどもの養育の委託状況等を情報提供すること (4)町内会、自治会その他地域団体と積極的に交流し、里親制度の普及及び啓発を行うことにより、新たに里親となる者を増やすこと、などの職務を市長から委嘱された里親。</p>     |
|        | 里親養育包括支援<br>(フォスタリング) | <p>里親のリクルート及びアセスメント、里親登録前後及び委託後における里親に対する研修、こどもと里親のマッチング、こどもの里親委託中における里親</p>                                                                                                                                           |

|  |                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--|-------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  |                                                             | <p>養育への支援、里親委託措置解除後における支援に至るまでの一貫した里親支援。</p>                                                                                                                                                                                                                                    |
|  | <p>サポートプラン</p> <p>(はぐくみサポートプラン<br/>／よこすか親子サポート<br/>プラン)</p> | <p>サポートプランは、継続支援が必要な妊産婦・こども及びその家庭に対し、支援対象者と支援者が、課題を共有し、解決に向け、共に作成する支援計画である。支援対象者の意向、解決すべき課題、支援の種類及び内容を記載する。</p> <p>はぐくみサポートプランは、主に、妊産婦から乳幼児を対象とし、保健師等が母子健康手帳交付時、乳幼児健診等の場面で手交するもの。</p> <p>よこすか親子サポートプランは、こども家庭支援課で支援をしているお子さんご家庭に対し、面接や家庭訪問などの支援時に個別支援の内容を記入し手交するもの。</p>         |
|  | <p>施設入所児等社会（家庭）<br/>復帰促進事業</p>                              | <p>施設を退所し、社会復帰したこども等を施設に招き、入所しているこども等との交流活動を行うこと等により入所しているこども等の社会復帰への自立意欲の向上を図るほか、入所しているこども等の保護者を施設に招き、家庭環境の整備、処遇方法等の指導を行うことにより、早期家庭復帰を図る。また、施設を退所したこども等のうち、生活面や就労面の不安などにより一時的に施設に戻ることができるよう、施設における居場所を確保する事業。</p>                                                              |
|  | <p>児童家庭支援センター</p>                                           | <p>平成 9 年の児童福祉法改正で制度化され、こどもに関する家庭その他からの相談のうち、専門的な知識及び技術を必要とするものに応じるとともに、児童相談所からの委託を受けたこども及びその家庭への指導、その他の援助を総合的に行う。</p>                                                                                                                                                          |
|  | <p>児童自立生活援助事業</p>                                           | <p>こどもの自立支援を図る観点から、義務教育終了後、里親や小規模住居型児童養育事業を行う者への委託又は児童養護施設等への入所措置が解除されたこども等、母子生活支援施設における保護の実施を解除された者及び一時保護を解除された者等に対し、これらの者が共同生活を営むべき住居等において、相談その他の日常生活上の援助及び生活指導並びに就業の支援を行い、あわせて児童自立生活援助の実施を解除された者への相談その他の援助を行う事業。児童自立生活援助の実施場所は、次のいずれかに該当する場所及び対象者の居宅とし、場所によりⅠ型、Ⅱ型、Ⅲ型がある。</p> |

|  |                                    |                                                                                                                                                                                                                                |
|--|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  |                                    | <p>I 型：自立援助ホーム</p> <p>II 型：母子生活支援施設、児童養護施設、児童心理治療施設又は児童自立支援施設</p> <p>III 型：小規模住居型児童養育事業を行う住居（ファミリーホーム）又は里親（親族里親を除く。）の居宅</p>                                                                                                    |
|  | 社会的養育                              | <p>社会が保護者（家庭）とともに、家庭で暮らすこどもから代替養育を受けているこどもの、胎児期から自立までの養育すべてについて責任を持ち、支援すること。</p>                                                                                                                                               |
|  | 社会的養護                              | <p>こどもの成長発達のために、行政機関がサービスの開始と終了に関与し、こどもに確実に支援を届けるサービス形態。また、様々な事情により実親とこどもを分離した後の代替養育を公的に保障し、サービスを提供する場合は措置・契約問わず社会的養護に含む。（自立援助ホームや、保護者との契約で入所している障害児施設やショートステイも社会的養護に含める。）</p>                                                 |
|  | 社会的養護自立支援拠点事業                      | <p>措置解除者等や虐待経験がありながらもこれまで公的支援につながらなかった者等の孤立を防ぎ、社会的養護経験者等を必要な支援に適切につなぐため、相互の交流を行う場所を提供する。また、必要な情報の提供、相談及び助言並びにこれらの者の支援に関連する関係機関との連絡調整を行い、これらの者が帰住先を失っている場合等において、状況が安定するまで一時的に滞在させ、居住支援や生活支援を行うこと等により、将来の自立に結びつけることを目的とする事業。</p> |
|  | 助産施設                               | <p>保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由により、入院助産を受けることができない妊産婦を入所させて、助産を受けさせることを目的とする施設。</p>                                                                                                                                                   |
|  | 子育て短期入所生活援助事業（子育て短期支援事業／ショートステイ事業） | <p>保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となったこどもを児童養護施設等又はショートステイファミリー（里親宅）に入所させ、必要な保護を行う事業。</p>                                                                                                                                   |
|  | 自立支援コーディネーター                       | <p>施設等に入所中のこどもや施設等経験者に対し、自立後の進路や必要な支援等に関する情報の提供をはじめとした自立支援のサポートやアフターケアを行う専門職。</p>                                                                                                                                              |

|        |             |                                                                                                                                                                     |
|--------|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| た<br>行 | 第三者評価       | 社会的養護の施設については、「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」に基づき、その運営の質の向上を図るため、第三者評価及び自己評価の実施とそれらの結果の公表が義務づけられている。                                                                          |
|        | 代替養育        | 社会的養護のうち、保護者と分離し、施設や里親による養育を行うこと。                                                                                                                                   |
| な<br>行 | 妊産婦等生活援助事業  | 令和4年の改正児童福祉法において、家庭生活に困難を抱える特定妊婦や出産後の母子等（特定妊婦等）に対する支援の強化を図るため、一時的な住まいや食事の提供、その後の養育等に係る情報提供や、医療機関等の関係機関との連携等まで一貫的な支援を行うことを目的として、都道府県等の事業として位置づけられ、令和6年度より施行することとなった。 |
| は<br>行 | パーマネンシー保障   | 永続的な人間関係や生活の場を保障するという意味。<br>代替養育が一時的な解決とするものに対し、養子縁組・特別養子縁組を永続的解決（パーマネンシー保障）するものとしている。                                                                              |
|        | フォスタリング     | こどもにとって質の高い里親委託がなされるための里親のリクルート・登録からこどもの委託・措置解除に至るまでの過程、委託後の里親養育の一連の包括的業務をフォスタリング業務と呼ぶ。                                                                             |
|        | ボランティアファミリー | 児童養護施設のこどもたちを家庭に迎え入れ、家庭生活を体験させる制度。週末や祝祭日・夏休みなど学校が休みの期間に1泊2日、2泊3日などの期間で実施する。                                                                                         |
| ま<br>行 | 未就園児等全戸訪問事業 | 乳幼児健診未受診や、未就園、不就学等で福祉サービス等を利用していないなど、関係機関が確認できていないこどもを市町村において把握し、目視等により状況確認を進める事業。                                                                                  |
|        | メンタルフレンド    | 援助を必要とするこども又はその保護者の申請によりメンタル・フレンド（社会福祉学、教育学、社会学、心理学その他これらに類するものの専門課程に在籍する者等、登録を受けた者）を家庭等に派遣し、必要な助言及び指導を行い、日常における自主性及び社会性の伸長を援助することを目的とした事業。                         |

|        |                           |                                                                                                                                                                                               |
|--------|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| や<br>行 | 横須賀市こども家庭地域<br>対策ネットワーク会議 | <p>児童福祉法第 25 条の 2 第 1 項に基づく要保護児童<br/>対策地域協議会（名称は横須賀市こども家庭地域対<br/>策ネットワーク会議、略称「要対協」）。</p> <p>関係機関が問題の深刻さや支援の必要性について共<br/>通認識を持ち、適切な連携の下で対応していくこと<br/>を目的に、支援のために必要な情報交換や支援内容<br/>について協議する。</p> |
|--------|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## (2) 施設種別

| 用 語      | 説 明                                                                                                                                                                                          |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 児童養護施設   | 保護者のないこども、保護者に監護させることが適当でないこども等、環境上養護を要するこどもを入所させて養護し、あわせて退所した者に対する相談その他の自立のための援助を行うことを目的とする施設。                                                                                              |
| 児童自立支援施設 | 犯罪等の非行をした、またはするおそれのあるこどもや家庭環境等から生活指導を要するこどもを入所または通所させ、必要な指導を行って自立を支援する施設。多くは児童相談所の措置によるものであるが、家庭裁判所での審判の結果、保護処分として送致される場合もある。                                                                |
| 乳児院      | 様々な事情により家庭での養育が困難である乳児を入所させて養育し、あわせて退所した者について相談その他の援助を行うことを目的とする施設。原則として1歳児未満の乳児を主に養育するが、必要がある場合には小学校以前の幼児も養育することができる。                                                                       |
| ファミリーホーム | 小規模住居型児童養育事業。保護者のいないこども又は保護者に監護させることが適当でないこどもに対し、養育者の住居（ファミリーホーム）において、家庭における養育環境と同様の養育環境においてこどもの養育を行う。1ホームの児童定員は5～6名。平成29年4月1日適用の厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知により、養育者は養育里親または専門里親に登録されていることが望ましいと明記された。 |
| 自立援助ホーム  | 児童自立生活援助事業（Ⅰ型）。義務教育終了後、児童養護施設等を退所し、就職するこども等に対し、これらの者が共同生活を営む住居（自立援助ホーム）において、相談、日常生活上の援助及び生活指導並びに就業の支援を行い、あわせて援助の実施を解除された者への相談その他の援助を行うことにより社会的自立の促進に寄与することを目的とする。                            |



### (3) 里親種別

| 用 語    | 説 明                                                                                                           |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 養育里親   | 様々な事情により家庭での養育が困難であるこどもを一定期間養育する里親。実親の元で暮らすことができるようになるまでの短期間や、成人になるまでの長期間等、ニーズに応じた多様な委託を担っている。                |
| 専門里親   | 虐待されたこどもや非行等の問題を有するこども、身体障害児や知的障害児等一定の専門的ケアを必要とするこどもを養育する里親。難しい養育を担うため、養育里親の経験が3年以上であること、専門的な研修を受けること等の条件がある。 |
| 親族里親   | こどもの両親やそのこどもを監護する者が死亡、行方不明、拘禁、入院等の状態となったことにより養育ができない場合に、扶養義務者である親族に委託し、養育をする里親。                               |
| 養子縁組里親 | 保護者のないこどもや家庭での養育が困難で、実親が親権を放棄する意思が明確な場合の養子縁組を前提とした里親。こどもが6歳未満の場合は特別養子縁組制度により、裁判所の審判により、実子扱いでの入籍が可能になる。        |